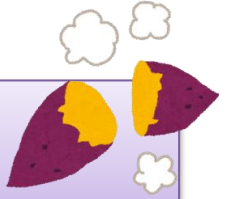




11月 熊本市 感染症発生動向調査 速報



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎が増えています。流水、石けんによるこまめな手洗いを心掛けましょう。今週の特集はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

発熱・のどの痛み・イチゴのような舌(写真参照)が主な症状です。早めに治療を受けましょう。

◆どんな病気？

球型の、赤血球を壊す(溶血)毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多く、3歳以下の乳幼児や大人には比較的少ない病気です。

・症状……………突然の発熱とだるさ、のどの痛みで発症し、イチゴのような舌が特徴です。嘔吐を伴うこともあります。細菌の毒素により「猩紅熱」に進行すると、点状紅斑や日焼け様の皮疹が全身に広がります。合併症には、リウマチ熱や糸球体腎炎などがあります。

・潜伏期間…2～5日

・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、細菌が付いた手を介する接触感染です。主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭や学校での感染も多いです。兄弟間の感染率は25%とも言われます。

・流行期……………冬季、および春～初夏に2つの流行ピークがあります。

◆かかったらどうすればいいの？

・抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、お薬は決められた期間きちんと飲みましょう。

・のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫しましょう。水分補給を心がけましょう。

◆予防法は？

・症状のある人との密接な接触を避けることがとても大切です。手洗い、うがいもしっかりおこないましょう。



国立感染症研究所感染症情報センター
「感染症の話」より抜粋

期 間		平成30年 44週		平成30年 45週	
		10/29～11/4		11/5～11/11 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	8	0.32	14	0.56
RSウイルス感染症	↑	7	0.44	9	0.56
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	1	0.06	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ⚠	↑	24	1.50	43	2.69
感染性胃腸炎 ⚠	↑	98	6.13	112	7.00
水痘(みずぼうそう)	→	0	0.00	0	0.00
手足口病	↑	12	0.75	9	0.56
伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	↑	9	0.56	12	0.75
ヘルパンギーナ	→	0	0.00	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑	0	0.00	2	0.13
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	13	2.60	12	2.40
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	1	0.20	2	0.40
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00